

# かべ新聞

第 66 号

2013年  
11月17日

J R 東海労働組合  
新幹線地方本部  
東京車両所分会

## 『今日は第一仕業、明日は第二仕業!?!』この勤務では多くの弊害が！ 仕業の『込み運用ありき』での勤務指定反対！！

東京仕業検査車両所の 2013 年 11 月の勤務指定において、私たち JR 東海労働組合員に『日によって、今日は第一仕業班、次勤務は第二仕業班』という様に、いわゆる『込み運用』での勤務指定が行われています。

この問題は、これまでの会社との協議の中でも「考えていない」との回答でしたが、11月の勤務指定で一方向的に実施してきました。

仕業検査班の『勤務指定の込み運用』は、第一仕業班と第二仕業班の作業環境の違いによる「ヒューマンエラー」や「思わぬミス」さらには「労働災害」が発生するおそれがあるため私たちは反対してきました。

また、『込み運用の勤務指定』が月極めされている社員は、業務に必要な工具箱及びアリスカードなどを次勤務に合わせてその庫へ自分で移動させている状況です。

第一・第二では班が違い当然『庫』も違うのですから、当事者には相当なストレスを強いられてきます。あまつさえ管理者が付きっきりで作業状態を監視しているのですから、精神的負担は堪ったものではありません。ミスやヒューマンエラーを誘発する『込み運用』は断固反対です。

私たちは、幹鉄事に以下の申し入れを行いました！

1. 11月に込み運用の勤務指定を行った理由について明らかにすること。
2. 込み運用は11月だけなのか今後も続けるのか明らかにすること。
3. これまでの運用に変更がある場合は事前に労働組合に対して説明すること。
4. 仕業検査班および申告班は今後どのように運用しようとしているのか明らかにすること。
5. 込み運用は第一仕業班と第二仕業班の作業環境の違いによるヒューマンエラーや思わぬミスあるいは労働災害を発生させるおそれがあるため止めること。
6. 現在込み運用の勤務指定をされている組合員は、業務に必要な工具類および「アリス」カードなどを次勤務に合わせて自分で移動させている。このような方法は工具類や「アリス」カード等の紛失や損傷を招くおそれがあり問題である。よって現場組合員の意見に基づいて改善策を講ずること。なお、「アリス」カードは仕業班毎に共通の1枚で入力するように見直すこと。

私たちは安全な作業・環境づくりのために奮闘します！